

サントリーのCSRビジョン

持続可能な社会の実現に寄与するために、
「水と生きる」企業ならではの価値を提供していきます

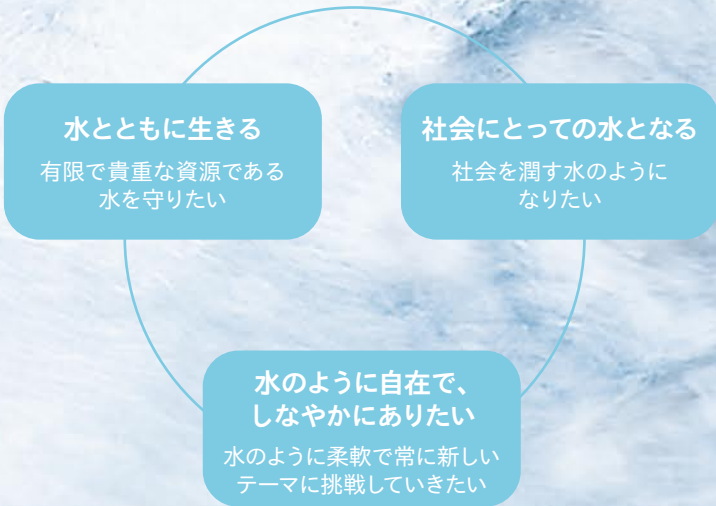
サントリーグループは、その存在理由ならびに到達目標を「人と自然と響きあう」という企業理念に定めています。「水と生きる SUNTORY」は、その思いを広く社会と共有するために、より具体的に、わかりやすく表現したメッセージです。私たちは「水と生きる」の実践を通じて、持続可能な社会の実現に貢献し、真に人々や社会から信頼され、選ばれる、価値ある企業になることをめざします。

水と生きる SUNTORY

サントリーのCSRの3つのテーマ

「水と生きる」というメッセージには、“地球にとって有限で貴重な水を守り”“文化・社会貢献活動を通じて社会と共生する、社会にとっての水となる”ということに加えて、“水のように柔軟で常に新しいテーマに挑戦していこう”というサントリーグループの決意が込められています。

こうした3つの思いの実現に向け、お客様、社会の声に耳を傾けながら真摯に活動に取り組むことが、サントリーのCSRであると考えています。



Theme 1

水とともに生きる

あらゆる生命の源であり、サントリーにとってもかけがえのない水 ——

この自然の恵みである水は、無限ではありません。

サントリーは、水を守り、育むことを事業の一環として捉え

これからも水とともに生きていきます。



これからも、水の恵みを提供し、守り続けます

サントリーの主な事業は、いずれも水や農作物といった自然の恵みに支えられています。原料としての水の品質にこだわり、安全・安心を追求することはもちろん、製造工程において水を大切に扱い、そして可能な限り良質の水を自然界へ還元していくことが「水と生きる」企業としての社会的責任であると認識しています。

さまざまな資源の枯渇が叫ばれるなか、自然の恵みをもたらしてくれる地球環境を次の世代に引き継ぐために、私たちは地球環境循環型もの造りへの一層の進化をめざしています。現在、全国7府県8ヶ所で展開する森林保全活動には、水源の涵養ほか、地球温暖化対策や生態系の保全などの多様な効果が期待されています。「人と自然と響きあう」持続可能な社会をめざして、今後もこうした活動を積極的に展開していく所存です。

取締役 技術開発部長／生産技術部長 環境部担当 小嶋 幸次



Activities 1

水の品質保証

徹底した試験・分析によって「安全・安心」をお客様に約束します。

事業の生命線ともいえる大切な主原料、「水」の品質を究める——サントリーは業界で他に類を見ない専門の分析機関を社内におき、工場ですべての水を定期的に分析しているほか、国内外のさまざまな水に関する研究活動を続けています。



→ 詳細は P.23

Activities 2

製造工程での節水

水の「ピンチテクノロジー」を活用して、工程用水の循環利用を実現しています。

ビールの製造工程で使用する「水」をできる限り節約し、有効活用するために、排水の質を把握・解析する水の「ピンチテクノロジー」を導入。回収した排水を浄化し、タンク洗浄などに再利用するリサイクルシステムを構築しています。



→ 詳細は P.55

Activities 3

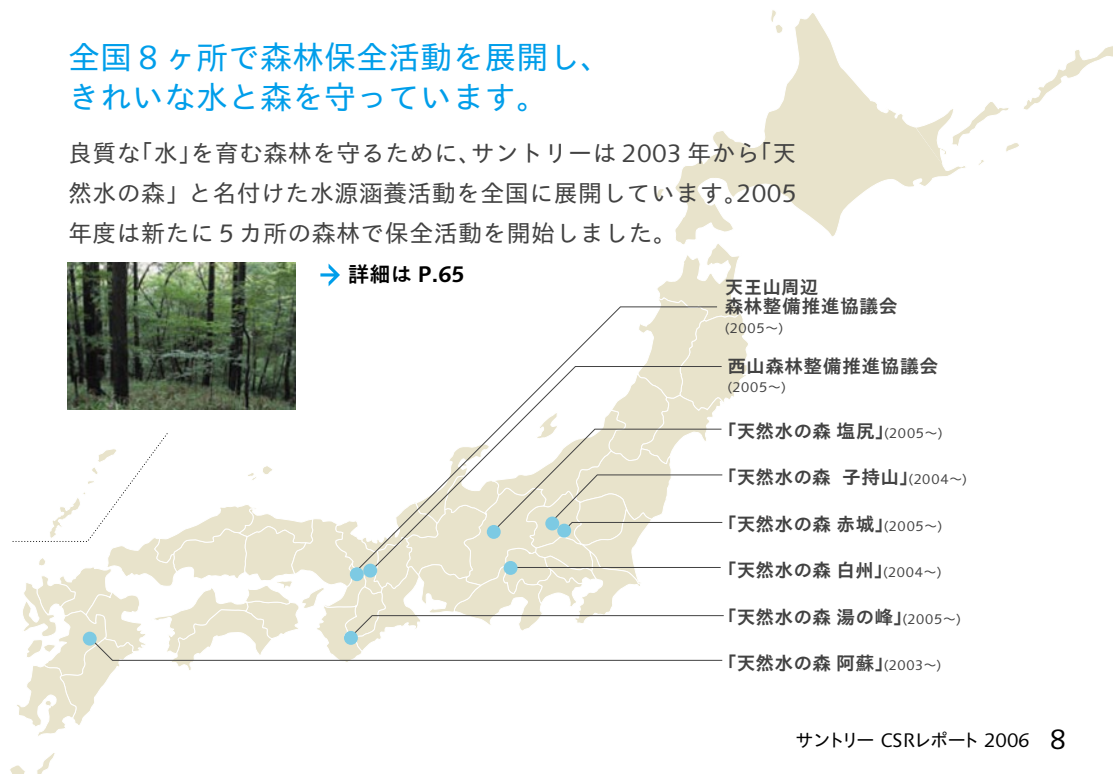
森林保全による水源涵養

全国8ヶ所で森林保全活動を展開し、きれいな水と森を守っています。

良質な「水」を育む森林を守るために、サントリーは2003年から「天然水の森」と名付けた水源涵養活動を全国に展開しています。2005年度は新たに5カ所の森林で保全活動を開始しました。



→ 詳細は P.65



Theme II

社会にとっての水となる

人々の生活や文化をより豊かに、実りあるのもとするために ——
サントリーは、音楽や美術、スポーツへの貢献、次世代を担う子どもたちの育成支援、
地域社会と協力して取り組むさまざまな活動を通じて
社会を潤す水のような、価値ある存在となることをめざしています。



時代を見つめた社会貢献のあり方を追求していきます

「社会の公器」としての企業には、その時々が直面する課題に対して何ができるかを考え、実行していくことが求められます。サントリーにおいても、創業者・鳥井信治郎は恵まれない境遇の方々への社会福祉活動、慈善活動に力を注ぎました。それを引き継いだ第二代社長佐治敬三は、心の豊かさが求められる時代に、コンサートホールや美術館の運営など、特に文化の面で貢献しました。いま人口減少、少子高齢化の時代を迎え、社会の活力をどう維持していくかが大きな課題となっています。将来を担う子どもたちがすくすくと健やかに成長するよう、お手伝いすること——これがいまの時代にサントリーが果たすべき役割と考え、次世代育成支援の取り組みを強化しています。

これからもサントリーが持てる力を社会のお役に立つような形で展開し、社会に潤いを与える水のような存在となることを、一貫して追求してまいります。

常務取締役 文化・社会貢献本部長／次世代研究所長 筑紫 勝麿



Activities 1

豊かな生活文化への貢献

人々に心の潤いをお届けしたいと考えています。

音楽や美術、学術文化の発展に寄与する目的で、サントリーホール、サントリー美術館、サントリーミュージアム[天保山]の運営や日本の音楽文化の向上に寄与する音楽財団や学術的研究への助成を行う文化財団への支援を行っています。また、スポーツを通じて夢と感動を与えたいという思いから、スポーツ団体への協賛や自社チームによるスポーツ活動を展開しています。



→ 詳細はP.39

Activities 2

次世代を担う子どもたちの育成支援

次世代を担う子どもたちの夢や挑戦する気持ちを応援します。

スポーツ・音楽・美術・環境などさまざまな分野で、子どもたちが体験・体感する機会を提供する〈キッズ・ドリームプロジェクト〉を展開。森と水をテーマにした五感による体験学習「森と水の学校」に加え、2006年からは、「水」をテーマにした独自の教育プログラム「水育(みずいく)」を開始しました。



→ 詳細はP.41

Activities 3

地域社会との協働

地域と協力した森林保全活動を推進します。

地域の自然環境を守り、周辺の方々の生活にも貢献する森林保全活動を全国各地で国や自治体、地域と協力しながら推進しています。また、全国の工場、事業所などでは、地域の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。

→ 詳細はP.42 P.65



Theme III

水のように自在で、 しなやかにありたい

フレッシュで活力ある企業風土は、業務の担い手であり、
また一人の生活者でもある従業員によって支えられています。
従業員が水のように自在で、常に新しいテーマに挑戦していくことができるよう、
さまざまな支援に取り組んでいます。

従業員の意欲に応える職場環境をつくります

次世代育成支援対策推進法や、高年齢者雇用安定法など、現代社会が抱えるさまざまな課題に対し、労働環境の改革への要請が高まっています。さらに、厳しい市場環境のなか、サントリーがより良い製品・サービスを生みだしていくためには、従業員が水のように自由に、柔軟に、常に新しいテーマに挑戦しながら、持てる能力を十分に発揮することが不可欠です。そのためには、意欲ある従業員を育成しながら、ワークライフバランスの観点から仕事と家庭生活の両立を支援することが、会社としての重要な責務だと認識しています。会社の最も大切な財産である「人」の成長を支援し、従業員一人ひとりの自主性・創造性をいかに発揮できる人事制度・職場環境づくりに取り組んでいきます。

取締役 人事部長 キャリア開発部担当 栗原 信裕



Activities 1

従業員の健康を サポート

従業員の健康維持・増進を図るため、
さまざまなしくみを整えています。

従業員一人ひとりの健康をサポートすることは、企業の大切な責任である——という認識のもと、サントリーは、従業員の心身の健康に配慮した、さまざまな制度を設けています。2006年度からは定期健康診断の内容をさらに充実し、産業医によるフォロー体制も整備するなど、元気で充実した会社生活の実現に向けてサポートしています。



→ 詳細はP.38

Activities 2

従業員の キャリア開発を 支援

意欲ある従業員を支援する
さまざまなキャリア開発支援プログラムを提供しています。

自らが習得したいスキルを選び参加する「応募型研修」や、異動希望の意思を、直接異動を希望する部署に伝えられる「キャリアデザイン制度」により、従業員の能力開発とキャリア育成の支援をしています。



→ 詳細はP.36

Activities 3

仕事と育児の 両立

多様な働き方をサポートすることで、
一人ひとりの働く意欲に応えています。

生活スタイルも、仕事と家庭生活とのバランスも人それぞれ。その一人ひとりに力を発揮してもらいたい——そこで、サントリーは従業員の多様性、個人の事情に配慮した人事制度を構築。2005年には、そのひとつである出産・育児支援制度を拡充しました。



→ 詳細はP.37